

東京都NIE推進協議会

第14回セミナー



私たちにできること 震災記事から考える

東京都NIE推進協議会の第14回セミナーが8月17日、千代田区の日本プレスセンタービルで開かれ、都内の小中高校の教諭ら約80人が、東日本大震災の記事を使ったさまざまな授業例の報告を熱心に聞いた。

小学校では4月から、新聞活用がたくさん盛り込まれた教科書が使われている。

その教科書に記載されていない東日本大震災に焦点を絞り、子どもたちに何ができるかを考えさせる授業例などが発表された。

豊島区立千川中の小林豊茂校長は、各教室のテレビに新聞記事を毎日掲示する取り組みなどを紹介。都立青山高校の本杉宏志教諭は、新聞各社の社説を読み比べ、原発と今後のエネルギーについて考えさせる授業例を披露した。また、葛飾区立宝木塚小の杉山抄祐里教諭は、新聞を使って防災袋を作る家庭科の授業例などを挙げた。

(住吉 由佳、写真も)